



1年 課題研究基礎 サイエンスプログラム

地理歴史・公民科 ハザードマップづくり

スマートフォンやタブレット端末で確認できるアプリ

「ハザードマップ」

- ▶ 洪水や高潮、氾濫による浸水などの水害や土砂災害などで被害が想定されるエリアや避難する場所等を表示した地図。
- ▶ 基本的に区市町村ごとに作成する。
- ▶ 自宅や自分と家族の行動範囲にある地域に起こりうる災害を確認する。
- ▶ ハザードマップを見てみると、どんな被害が起きやすいのかどこに逃げれば良いのかが分かる。

国土交通省ハザードマップポータルサイト

- ▶ 区市町村ごとに作成されるハザードマップや都道府県の建設局が作る土砂災害特別警戒区域、各省庁・政府機関が作った情報を一度にまとめて「重ねて」確認することができる。
- ▶ 「重ねるハザードマップ」「わがまちハザードマップ」の2つから構成。

重ねるハザードマップ

- ▶ 水・土砂災害・津波のリスク情報、道路防災情報、土地の特徴・成り立ちなどを地図や写真に自由に重ねて表示
- ▶ 洪水に関しては、「洪水浸水想定区域（想定最大規模）」は「水害ハザードマップ作成の手引き」（平成28年4月）に基づく凡例
- ▶ 「洪水浸水想定区域（計画規模）」は「浸水想定区域図作成マニュアル」（平成17年6月）に基づく凡例による。
- ▶ 「津波浸水想定」は「津波浸水想定の設定の手引き（Ver.2.00）」（平成24年10月）に基づく凡例

わがまちハザードマップ

わがまちハザードマップ

～地域のハザードマップを入手する～

各市町村が作成したハザードマップへリンクします。地域ごとの様々な種類のハザードマップを閲覧できます。

地図で選ぶ

まちを選ぶ

東京都



新宿区



土砂災害ハザードマップを選択

土砂災害ハザードマップをインターネットで公開

市区町村が青色に色分け

災害種別から選択

あなたの町のハザードマップを見る

洪水ハザードマップ

内水ハザードマップ

高潮ハザードマップ

津波ハザードマップ

土砂災害ハザードマップ

火山ハザードマップ

ハザードマップ公表状況を見る

地震防災・危険度マップを見る

地震防災・危険度マップの公表状況を見る

Close

名古屋市防災アプリの説明

- ▶ 現在位置周辺の被害想定や避難所情報が、カメラで撮影した実写の映像に合成して表示される。
- ▶ 視覚的にその施設等がある方向や距離を把握することができる。
- ▶ 起動すると、画面の上半分にカメラ映像、下半分に地図が表示され、その風景に、震度、津波浸水深、河川洪水による浸水深等の「被害想定情報」や避難所、津波避難ビルなどの「避難所情報」が合成されて表示される。
- ▶ 事前に地図データ（国土地理院地図）をダウンロードできるので、災害時に通信機能が使用できなくなっても、地図を利用することができる。
- ▶ GPS情報と連携して地図を表示できるので、災害時はもちろん、実際に市内を歩いての防災訓練や事前学習に最適。

地震防災情報

津波浸水深等を3Dシミュレーションで分かりやすく表現



ハザードマップ 生徒の作品例



まとめ

- ▶ 国土交通省ハザードマップポータルサイトは意外と使いやすいし、毎年のようにアップデートして便利になっている。
- ▶ 身の回りで首都直下型巨大地震などで土砂崩れや河川決壊が起きる恐れは充分にある。
- ▶ また通勤通学路や避難ルートが大震災発生時にどうなってしまうか、事前に確認しておくことが大切。
- ▶ 画像引用：[国土交通省ハザードマップポータルサイト](#)

画像引用：名古屋市防災マップ